

紀の川市生まれの極早生のカキ「中谷早生」^{なかたにわせ}。露地カキのトップを切って9月上旬から秋の味覚が楽しめる。

「中谷早生」(カキ)

○特 徴：

9月上旬に成熟し、国内の露地カキで最も早く収穫できる品種。

果実の形や味は「刀根早生」^{とねわせ}とほとんど同じだが、成熟は10日程度早く、秋の味覚をいち早く楽しめる。

果実にはビタミンCやカリウムが豊富に含まれる。



○食べ方：

皮をむいてそのまま食べるのが美味しい。果肉は少し軟らかく、もっちりしている。牛乳と混ぜて柿ミルクにして飲むのもお薦め。



○来 歴：

紀の川市^{おちかた}遠方で「刀根早生」の枝変わりとして発見。原木の園主名から命名される。平成15年に品種登録。紀の川市を中心に栽培面積が拡大している。

○ 旬 ： 9月上旬～中旬

○産 地：紀の川市

○生産量：1, 241 t (H25年度)

○問い合わせ先：JA紀の里 (代表 0736-77-7801)

○出荷期間：9月上旬～中旬

○販売単位：4kg/箱、7kg/箱